

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る

第6回まちづくり市民会議 結果概要

《日 時》 平成27年6月27日(土) 13時から15時まで

《場 所》 鴨川市役所4階大会議室

《テーマ》 ～将来像の実現に必要な取り組みの提案～

《出席者数》 19名

○鴨川地域.....	6名
○天津小湊地域.....	5名
○江見地域.....	5名
○長狭地域.....	3名

《傍聴者数》 2名

1 開会・市長あいさつ

鴨川市長より、開会にあたってのあいさつを行いました。

【要旨】

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定の時期を迎えるにあたり、鴨川市では今ある資源を活かしながら、市民の皆様との協働によるまちづくりを推進していきたいと考えている。協働によるまちづくりを進めていくために、皆様の意見を聞くことが出来るこのような機会は大変重要なものである。6回に渡って開催された市民会議も本日で最後となるが、今までいただいた皆様のご意見は可能な限り計画に反映していきたいと思う。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、前回の振り返りと第6回の進め方を説明しました。

3 各地域の将来像の設定・確認

前回、各地域から提案してもらった地域の将来像（キャッチフレーズ）を参考に、事務局で精査した案を全体に説明し、概ねの方向性について了承を得ました。

4 地域づくりの具体的な取り組みの提案

ワールドカフェ方式（3ラウンド）で、将来像の実現に向けて、今後地域で取り組むべき施策・活動等を付箋に記入し、模造紙に貼る作業を行いました。提案した施策・活動については、どの主体が中心となって担うべきかも一緒に考えながら分類して貼り付けました。

1ラウンド目は自分の担当地域、2ラウンド目、3ラウンド目は自分の担当地域以外について検討しました。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

5 地域における重要施策の抽出

これまで出された意見を見ながら、特に必要性・優先度が高いと思われる取り組みにシールを貼り（1人3枚）、重点施策を3つ抽出しました。



＜鴨川地域＞



＜天津小湊地域＞



＜江見地域＞



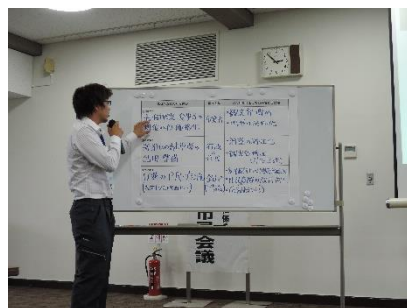
＜長狭地域＞

6 全体発表

各グループの代表者が検討成果を報告しました。ワールドカフェの結果と重点施策は以下ようになります。



＜鴨川地域＞



＜天津小湊地域＞



＜江見地域＞



＜長狭地域＞

鴨川地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

住 民

行 政

住民主体のまちづくり ●●

まず、自分たちが鴨川の良さを知る

市民ひとりひとりがおもてなしの気持ちを持つ

鴨川の良いところをアピール
マイスター（2）

親戚、友人、知人が訪れたときに「鴨川案内ガイドをする」

湾岸線の清掃、整備、改善

海岸、野山のゴミ掃除

10年後の成人たちの意見を取り入れる夢・まちづくり

今までの鴨川の良さを活かす

子供を介したまちづくり ●●●●●●●●

千葉市の小学校が宿泊に来ているので、鴨川の良さを教える

他市の子供との交流

鴨川にいる大学生を卒業後も鴨川に置く

子どもの頃から鴨川の良さを知ってもらう

小中学校施設を利用して、交流を図る

鴨川流の遊び方を学校のカリキュラムとリンクさせる

子供たちが、大好きな鴨川を発表する場を設ける

駅前活性化 ●●●

駅からシーワールドへの遊歩道を歩いて楽しいものにする

観光案内所の設備等を整え、観光ターミナル化する（3）

駅前～旧市街地をリゾート都市として再開発

駅前にウエルカムボードを作る等、駅前の鴨川らしさを（2）

商店街の再利用・拡大

イベントの推進 ●●●●

サーフィンが自由に行える

音楽発信

市内運動施設を利用したスポーツ交流の都市にしたい

海を活かしたスポーツイベントの開催

市の中心なので、交流イベントを継続的に開催する

地域資源（海、林道、運動施設、歴史文化）を活用したイベントの開催

「波の伊八」、「長谷川昇」を生んだ鴨川で彫刻展を開催する（砂の像等）

交通整備 ●

高速道路までのアクセスをもっとよくする

シャッター通りを駐車場化するなどして、観光客向けの駐車場を増やす

バスのターミナル化等、交通の便を増やす（3）

NPO 等

事業者

鴨川市シーワールドの情報発信

大型商業施設があり、地方での消費生活のデメリットが少ない

東条、西条、田原の野菜のブランド化（2）

亀田医療病院があるので、産業面などで利用したい

鴨川地域 ～地域の将来像（案）と「重要施策の抽出」のまとめ～

将来像（案）

調和のとれた自然を活かした 賑わいのある癒しとゆとりのまち 鴨川

具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
重点施策 1 鴨川の将来を担う子ども達が他の地域の人との交流を通し、鴨川の良さに気づき、アピールする	行政	● 子供たちが地元「鴨川」をもっと知り、郷土愛を深め鴨川の将来に「大きな力」として存在すること ⇒ 5年後、10年後のまちづくりを見据え、将来を担う子供たちに地元のことをよく知ってもらうことで、就職・結婚しても他都市に流出せず、鴨川で暮らしていく若い世代が増加する。 ● 子供を通して親世代も地域の良さに気付く ⇒ 子供への地元愛の醸成を通じて、その親世代にも地域の良さが伝わり、地域の伝統や生活環境を保全・改善するためのまちづくり活動等の活発化が図られる。
重点施策 2 恵まれた資源（自然・歴史・施設）を活用したイベント開催	行政 事業者	● 観光客の獲得 ● 地域の活性化 ⇒ 海や山、波の伊八、総合運動施設などの地域資源を活かしたイベントを開催することで、新たな観光客を獲得することができ、鴨川地域だけでなく、市全体の活性化にもつながる。
重点施策 3 駅前から鴨川らしさを出し、活性化	事業者	● 観光客の獲得 ● 活性化 ⇒ 駅前がシャッター街となっているので、本市の玄関口のひとつとなる鴨川駅周辺を活用し、地域住民や観光客が滞留できるような空間を形成し、賑わいを生み出すことで、駅周辺部での観光客の獲得とさらなる活性化を図る。

天津小湊地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

住 民

空き家・空き地対策

空き家の貸し出し。有効利用

四方木地区の再利用の工夫（農地・空き家）

清澄寺の集落の再利用

大型農家の育成

地元の産物の食べ方、料理の仕方をアピール

海沿いの駐車場利用

海岸線利用の充実。利用していただく方々の気持ちで改善していく

海沿いの駐車場を活かしてほしい。勝浦の部原などは停めることができないほど車が来ている ●●

山、海などの自然を活用し児童の体力・学力を向上させる

都心高齢者の受け皿として空き家を活用（観光にも繋げる）

獣害対策

有害鳥獣の撲滅

猪、鹿の食用利用

治山治水事業の推進

人口林の管理、手入れ（民有林）

森林整備の促進

河川ごとの合併浄化槽の促進

行 政

内浦海岸養浜事業の推進 ●

生活基盤の整備

実入バイパスの早期完成

県道拡張（市原天津小湊線）

市道整備の促進

がけ崩れ防止工事の着工

北部道路から天津バイパスの道路早期完成 ●

都市計画から狭隘道路部分を外す

市会議員全体定数削減 ●

長い休みにサマースクールなどを行ったら良い

子育て支援。若者の働く力を助けていく（人口）

公園を作ってほしい

夏祭りを利用し観光客も参加できるような受け入れと、HPを利用してのイベントのアピール

鯛せんべいに替わる土産品の開発

歴史を活かした観光振興

清澄寺の観光宣伝

誕生寺からスタートして清澄で終わるような観光ルートが欲しい

観光ボランティアの活動をフル活用する ●

歴史ツアーを組む

歴史のまちとして打ち出す ●

日蓮の歴史の小径の整備

日蓮ブランドの創作。お坊さんを使ったPR ●●

観光資源の発掘・発信

観光マップに合わせて美味しい食事コースも

鴨川ライスバーガーや鴨川米麺をお店にお願いする

観光施設を活かしフリーバスツアー等、バス会社と共に進め市のアピールをしていく。得点いっぱい低価格で ●

ブランド化の推進 ●

林産物、水産資源、農産物のブランド化。キノコ、こんにゃく、里芋等。

ひじきのブランド化

漁業の観光活用

磯の産物採り体験

泊まり込みの海産物収穫体験ツアー

開かれた漁協づくり

漁場と一般の人の遊び場の話し合いをしてほしい

海を開放する手法を考える

低廉価格の宿泊料、食事代 ●●

小湊湾遊覧船の復活

NPO 等

事業者

天津小湊地域 ～地域の将来像（案）と「重要施策の抽出」のまとめ～

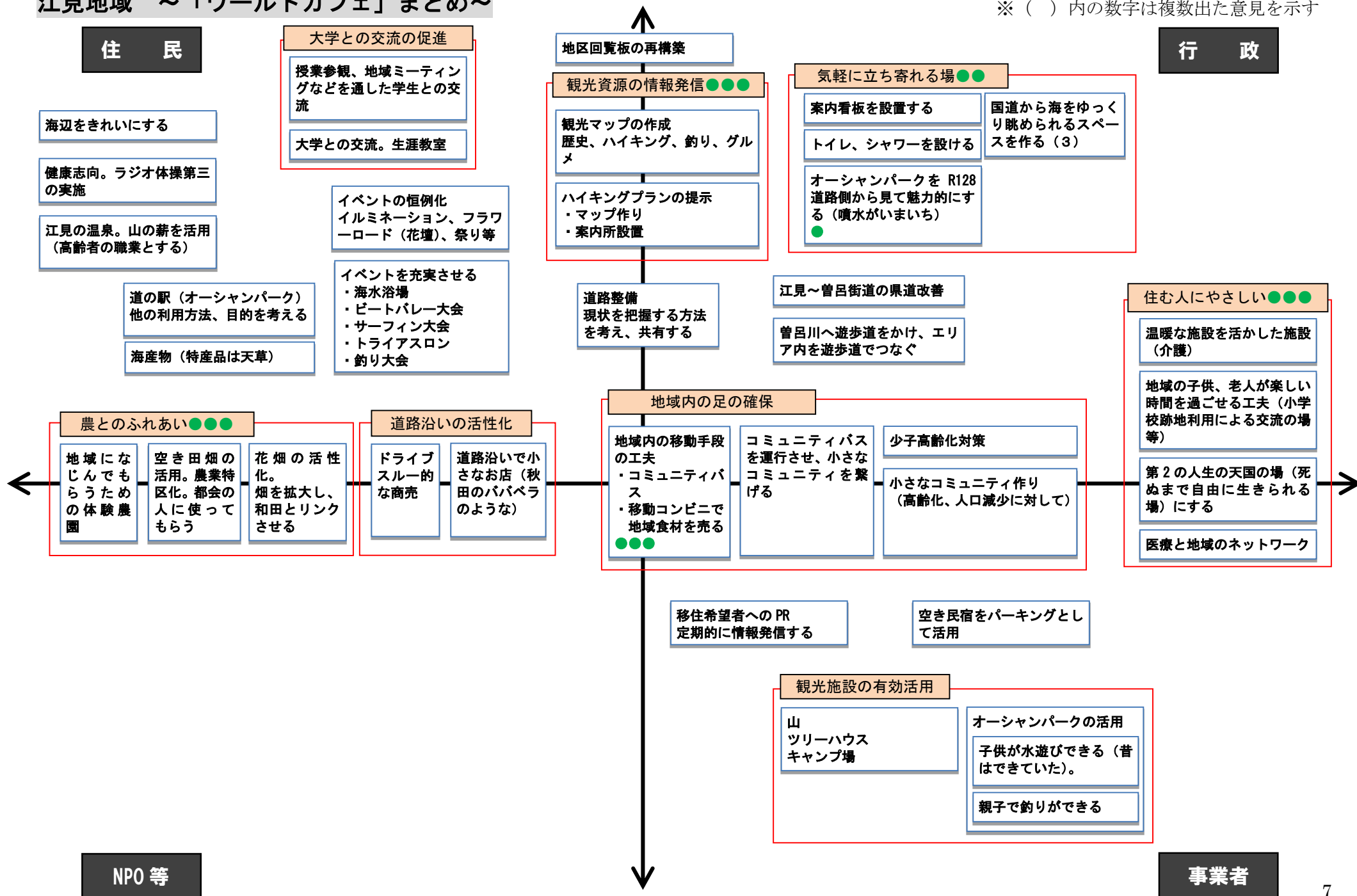
将来像（案）

元気な住民による産業の活性化 自然と歴史物語のあるまち 天津小湊

具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
重点施策 1 宿泊施設・食事等の料金の低価格化	事業者	● 観光客の増加 ⇒ 地域内のホテル・旅館の宿泊料金や食事等の料金が、他の観光地と比較しても高すぎるので、低価格化を図ることで、さらなる観光客の獲得につながる。 ● 地域の活性化 ⇒ 地域内に観光客が増えることで、地域経済の向上や、それに伴う雇用促進など、様々な活性化が図られる。
重点施策 2 海沿いの駐車場の活用・整備	行政 住民	● 沿道の活性化 ● 観光客の増加（滞在促進） ⇒ 海が見える道路沿いに、観光客が気軽に利用できる駐車場を整備することで、これまで本地域を通過していた観光客の足をとめ、地域での滞在・観光を促進する。
重点施策 3 日蓮のPR・ブランド化 （大河ドラマ、映画化!?)	全員	● 知名度向上による販路拡大 ⇒ 本地域の重要な歴史・文化である日蓮を売りにしたPRやブランド化を図ることにより、全国へ鴨川市の天津小湊地域を知っていただく機会を創出し、その知名度を活かして、観光客やインターネットなどの活用により、地域物産の販路拡大を図る。 ● 住民の観光まちづくり意識の改善、向上 ⇒ たくさんの観光客が地域を訪れるようになれば、おのずと地域住民の観光まちづくりに対する意識の改善・向上が見込まれ、住民の主體的なまちづくり活動などにより、よりよい地域づくりが図られる。

江見地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す



江見地域 ～地域の将来像（案）と「重要施策の抽出」のまとめ～

将来像（案）

海・山の魅力を活かした定住と交流 住みたくなるあったかいまち 江見

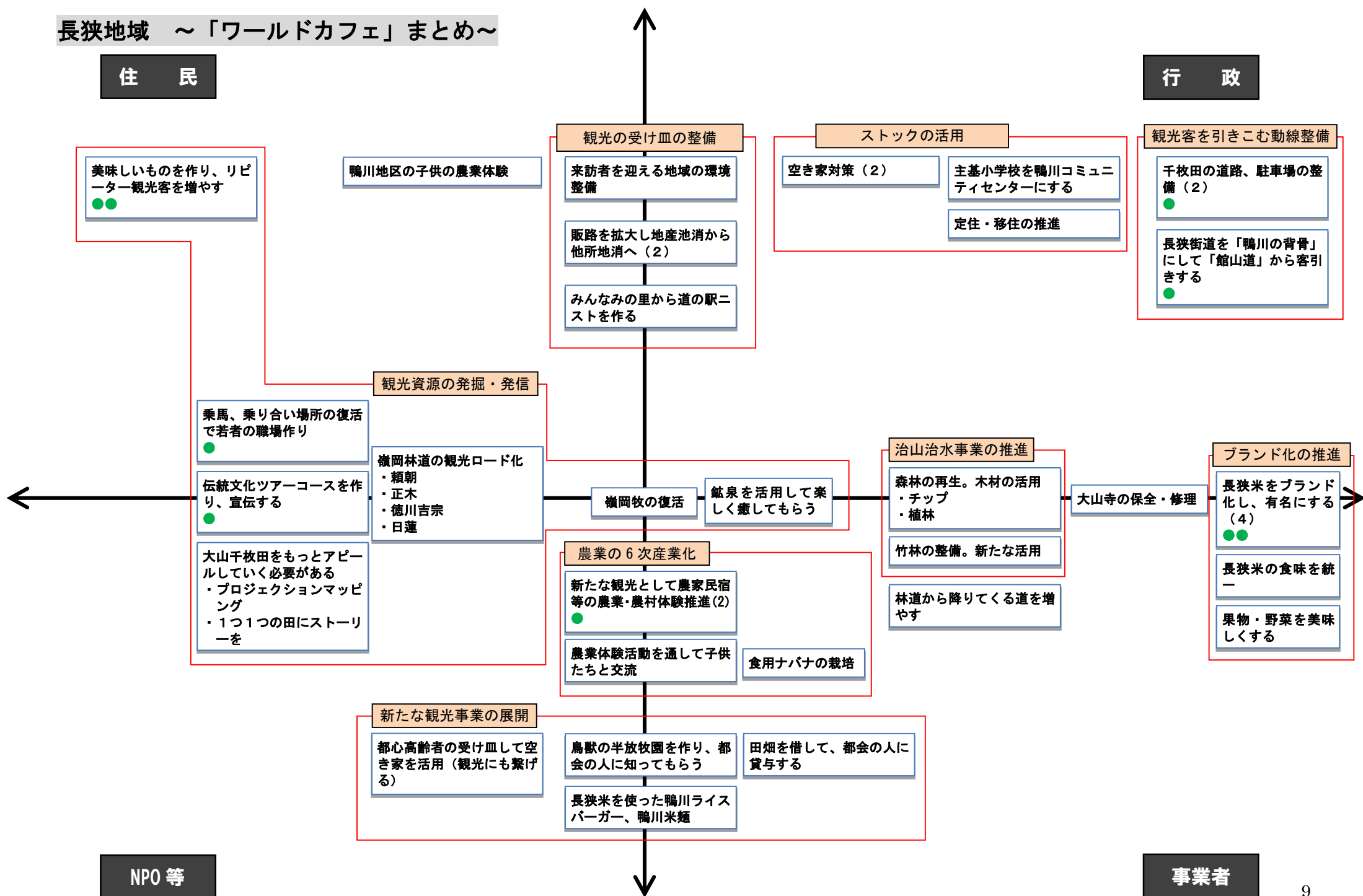
具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
重点施策 1 国道沿いの活性化 海と花の散策	<u>行政</u> 事業者 住民	● 国道沿いで海、花の PR ● 地域特産品の販売 ● 観光客の増加による雇用の促進 ⇒ 国道沿いに地域が形成されている特徴を踏まえ、沿道に駐車場を整備し、本地域ならではの景色や特産品の販売、海や花を活かした地域散策ルート等を整備し、観光客の獲得と地域内雇用の創出を図る。
重点施策 2 安心してずっと住める環境作り （地域ネットワーク）	<u>住民</u> 行政 事業者	● 移住の促進 ● 人口の維持 ● 廃校の活用 ⇒ 地域の中でも移動が困難な高齢者や独居世帯が増えており、廃校等の活用によって、そうした住民たちが日常的に集まれるような施設を整備することで、移住希望者も安心して地域に移住することができ、人口の維持にもつながる。
重点施策 3 地域内の移動手段の確保 （コミュニティバス、移動コンビニ）	<u>事業者</u> 住民	● 住みやすくなる ● 地域内コミュニティの向上 ● 健康促進 ⇒ 坂道や路地などが多く、観光スポットも各地に点在していることから、住民や観光客にとって、いかに地域内を移動しやすくなるかが重要。既存のコミュニティバスをもっと使いやすいように改善し、フリーストップエリアの設定や高齢者のための移動コンビニを運行することで、ずっと住み続けることができる地域づくりが進んでいく。

※ は特に主体となる機関

長狭地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

住 民

行 政



長狭地域 ～地域の将来像（案）と「重要施策の抽出」のまとめ～

将来像（案）

伝統と豊かな食と自然が生きる 人情あふれる安全・安心なまち 長狭

具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
重点施策 1 長狭米のブランド化	行政 事業者	● 食味の統一化による消費拡大 ➡ 現在は長狭米といっても販売元によって味にバラつきがある。生産体制から徹底した管理を図り、食味を統一していくことにより、長狭米の消費拡大、ひいては取引価格の向上により、地域経済の発展が見込まれる。
重点施策 2 新たな観光の創生 （受け入れ体制の整備）	行政 住民 NPO 事業者	● 観光客の獲得 ● 地域の活性化 ➡ 農家民泊や農業・農村体験、地域の食文化など、今までの観光とは異なる、農村部ならではの体験型観光プログラムやツアーコースを整備していくことで、新たな観光客の獲得を図るとともに、地域の活性化を図る。
重点施策 3 インフラ整備 （道路、森林、駐車場）	行政 NPO	● 観光客の獲得 ● 安全の確保 ➡ 都心部から本地域、地域内に点在する観光拠点へのアクセス道路や駐車場を整備することで、更なる観光客の獲得を図る。 ➡ 景観保全としての森林整備を進めるとともに、観光客の受け入れに向けた、観光拠点周辺の道路や駐車場の草刈り等の手入れなどにより、地域の安全性の確保が図られる。

配布資料

- (1) 第6回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム**
- (2) 参加者名簿(地域別)**
- (3) 鴨川市都市計画マスタープラン地域別構想における
各地域の将来像(事務局案)**
- (4) 第5回鴨川市まちづくり市民会議結果概要**
※(4)については、市ホームページ掲載上省略

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る
第6回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム

日時：平成27年6月27日（土）

13：00～15：00

場所：鴨川市役所4階大会議室

《テーマ》

～ 将来像の実現に必要な取り組みの提案 ～

① 開会あいさつ

② ワークショップの進め方の説明

- ・ 第5回の振り返りと第6回会議の進め方を説明します。

③ 各地域の将来像の設定・確認

- ・ 前回、地域ごとに提案された将来像を踏まえ、事務局で調整した案を全体にご報告し、意見交換を行います。



④ 地域別ワールド・カフェ 地域づくりに向けた具体的な取り組みの提案

【ラウンド①】地域で取り組むべき施策・活動等を提案しよう（15分）

- ・ まず、ご自分の地域のテーブルで、地域の将来像を実現していくために、今後地域で取り組んでいくべき施策や活動等を付箋に記入し、模造紙に貼っていきます。
- ・ その際、提案した施策・活動等を、どの主体（住民・行政・事業者・NPOなど）が中心となって担うべきかも一緒に考えながら分類します。

【ラウンド②③】地域で取り組むべき施策・活動等を提案しよう（各15分）

- ・ 各地域のリーダー以外は、別の地域のテーブルへ移動し、ラウンド①と同様に、各地域での具体的な取り組みについて意見交換してください。

⑤ グループワーク 地域における重要施策の抽出（25分）

- ・ 再び元のテーブルに戻り、ワールド・カフェで出された意見の中で、特に重要だと思う取り組みにシールを貼り、地域の重要施策を3つ抽出します。（1人3つまで）

⑥ 全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、全体で意見を共有します。

⑦ 委員長あいさつ・閉会

【ワークショップのルール】

- ・ 自分の主張ばかりせず、相手の話を聞きましょう。
- ・ 人の意見を否定しないようにしましょう。
- ・ 相手の意見のいいところを見つけましょう。
- ・ 進行役の言うことをしっかりと聞きましょう。
- ・ テーマにそった話をしましょう。
- ・ 楽しく、積極的に参加しましょう。



裏面へ続く（今年度の予定について）

平成 27 年度における「まちづくり市民会議」の予定

第4回 日時：平成27年4月26日（日）午後1時～午後3時

場所：鴨川市役所 4階大会議室

～地域の課題とお宝さがし～

※4つの地域（鴨川・天津小湊・江見・長狭）ごとにグループ分け

○平成27年度まちづくり市民会議の趣旨、進め方

○鴨川市都市計画マスタープランの概要

○ワークショップの進め方の説明

○地域の課題マップ・お宝マップの作成（地域の課題・地域資源の抽出）

○全体確認・まとめ



第5回 日時：平成27年5月24日（日）午後1時～午後3時

場所：鴨川市役所 4階大会議室

～地域のまちづくりのキーワード・将来像の提案～

○各地域の強み・弱みの検討

（ワールド・カフェ方式で行い、自分が居住する地域以外の地域の強み・弱みも検討）

○各地域の将来像やまちづくりの目標を表すキーワードの抽出（3～5つ程度）

○キーワードから地域が目指すべき将来像を示すキャッチフレーズの検討・提案



第6回 日時：平成27年6月27日（土）午後1時～午後3時

（今回）場所：鴨川市役所 4階大会議室

～将来像の実現に必要な取り組みの提案～

○第5回で設定した地域の将来像について、全体で意見交換

○将来像を実現するための地域づくりの具体的な取り組みの検討・提案



鴨川市総合計画・鴨川市都市計画マスタープランへの反映・策定

第6回鴨川市まちづくり市民会議 名簿(地域別)

(1) 鴨川地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	花山 藤太郎(はなやま とうたろう)	鴨川	鴨川市体育協会
2	高橋 由(たかはし ちなむ)	鴨川	鴨川不動産鑑定事務所
3	川名 慶子(かわな けいこ)	鴨川	一般社団法人鴨川青年会議所
4	佐竹 光雄(さたけ みつお)	鴨川	公募委員
5	村永 匠(むらなが たくみ)	西条	亀田医療大学(学生)
6	濱崎 順治(はまざき じゅんじ)	西条	鴨川市学校教育課
7	古橋 博子(ふるはし ひろこ)	田原	鴨川市みんなで育て鯛! まちづくり支援事業審査委員会
8	福山 鈴佳(ふくやま すずか)	田原	亀田医療大学(学生)

(2) 天津小湊地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	平野 義孝(ひらの よしたか)	小湊	公募委員
2	唐鎌 稔(からかま みのる)	天津	一般社団法人鴨川市観光協会
3	久根崎 克美(くねざき かつみ)	天津	公募委員
4	奈良 節子(なら せつこ)	天津	鴨川市食生活改善協議会
5	黒木 健一(くろき けんいち)	東条	鴨川ライオンズクラブ
6	高島 祐貴(たかしま ゆうき)	東条	一般社団法人鴨川青年会議所
7	黒川 洋子(くろかわ ようこ)	田原	鴨川市消防団(女性消防隊)

(3) 江見地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	飯島 眞澄(いじま ますみ)	江見	公募委員
2	樋口 洋子(ひぐち ひろこ)	江見	鴨川市商工会
3	草間 剛(くさま つよし)	江見	鴨川市文化協会
4	伊丹 一茂(いたみ かずしげ)	太海	一般社団法人鴨川市観光協会
5	羽鳥 航平(はとり こうへい)	曾呂	城西国際大学観光学部(学生)
6	畠山 秀行(はたけやま ひでゆき)	鴨川	一般社団法人千葉県建築士会安房支部青年委員会
7	田原 智之(たばら ともゆき)	西条	鴨川市漁業協同組合

(4) 長狭地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	石田 三示(いしだ みつじ)	大山	特定非営利活動法人大山千枚田保存会
2	高梨 陽市(たかなし よういち)	吉尾	鴨川市商工会
3	糟谷 英文(かすや ひでふみ)	吉尾	鴨川市酪農会
4	高梨 如美(たかなし ゆきみ)	大山	城西国際大学観光学部(学生)
5	栗原 博之(くりはら ひろゆき)	主基	主基地区社会福祉協議会
6	飯塚 和夫(いづか かずお)	西条	安房農業協同組合鴨川支店
7	高梨 道広(たかなし みちひろ)	田原	鴨川市ケアマネージャー連絡協議会
8	野村 久子(のむら ひさこ)	田原	公募委員

※ 各グループNo.1の方が「グループリーダー(進行役)」となります。

鴨川地域

調和のとれた自然を活かした 賑わいのある癒しとゆとりのまち 鴨川

本市の商業業務機能及び公共公益機能の中心地として、また、多様な自然環境と交流拠点を有する本地域においては、市内外から多くの人が集う本市の玄関口として、交通機能の充実を図りながら、市街地の賑わいを創出し、住民にも観光客にも優しい“癒し”と“ゆとり”のある地域づくりを目指します。

天津小湊地域

元気な住民による産業の活性化 自然と歴史物語のあるまち 天津小湊

美しい自然環境を有し、それらを活かした観光業や漁業が主産業となっている本地域においては、日蓮ゆかりの地としての物語や地域独自の歴史・文化、豊かな海産物などを活かしながら、更なる産業の活性化を図るとともに、それらを支える住民が、これからも安心して住み続けることができる、元気な地域づくりを目指します。

江見地域

海・山の魅力を活かした定住と交流 住みたくなるあったかいまち 江見

魅力ある海岸線や里山、道の駅などの交流拠点や温暖な気候を活かした花き栽培など、多様な地域資源を有する本地域においては、地域内に立地している大学との連携も図りながら、多様な交流を提供する場として関連機能の拡充を進めるとともに、居住地としても、誰もが住みたくするような、心の通うあったかい地域づくりを目指します。

長狭地域

伝統と豊かな食と自然が生きる 人情あふれる安全・安心なまち 長狭

大山千枚田をはじめとする豊かな自然資源と、本市農業を支える長狭平野を有する本地域においては、良好な営農環境の保全と自然環境の適切な管理を図りながら、昔からの伝統・文化が息づく既存コミュニティの維持・活性化に向けた、安全・安心で暮らしやすい地域づくりを目指します。